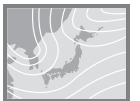




知って備える 防災メモ

第91回

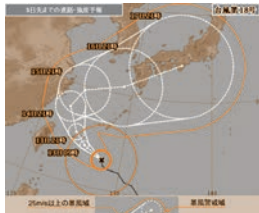
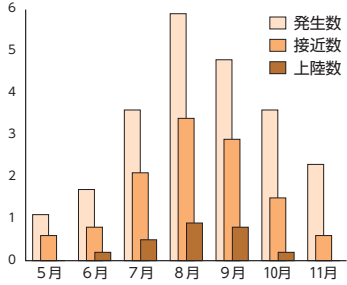


平時の備えが、有事に生きる

9月1日は、『何の日』か知っていますか。

大正12年に発生した関東大震災の発生日である9月1日は、災害についての認識を深めるとともに、災害に対する心構えや準備をするきっかけとなるよう、『防災の日』として制定されています。

8月から9月にかけて、台風の接近・上陸が、1年のうちで最も多くなる時期です。今一度、災害への備えを整えましょう。



▲台風の発生・接近・上陸月別平年値 (1981年から2010年までの30年平均)

▲気象庁が6時間毎に発表する『5日先までの台風の進路予報と強風域、暴風域の予報』

防災情報を得ることができる主なウェブサイト

気象庁 (登別市の気象警報・注意報)
https://www.jma.go.jp/jp/warn/f_0123000.html



北海道土砂災害警戒情報システム
<http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>



川の防災情報 (北海道)
<https://www.river.go.jp/portal/#81>



早期注意情報では、5日先までに気象警報・注意報を発表する可能性を、注意警戒事項では、今後24時間のより詳細な気象予報を確認するこ

がります。気象庁のウェブサイトには、室蘭地方気象台が発表する『早期注意情報』や『注意警戒事項』が掲載されています。

一人ひとりの判断が生死を分ける災害。情報を素早く正確に得る方法を平時から確認しておくことで、自分自身や家族の命を守ることに繋がります。

大雨や土砂災害などの自然災害は、発生する危険性をいち早く察知する方法があります。

感染症対策を考慮した避難所開設・運営訓練を実施しました

雨が降りやすく、河川が増水しやすい出水期を間近に控えた7月31日(金)、市民会館で、円滑な避難所運営を行えるよう、市職員による感染症に注意した避難所開設・運営訓練を実施。市職員約30人は、避難所の開設から、さまざまな容体を想定した避難者の受け付け、避難所への誘導までを訓練しました。

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている現在においても、災害が発生する可能性はあります。感染症が疑われる人を入り口から区分するなど、避難所内において、感染症が蔓延しないよう、市は備えを進めています。



▲検温などを行い、健康状態を確認した『避難者受入訓練』

▲避難スペースにパーティションや段ボールベッドなどを設置した『居住区分作成訓練』

とができますので、毎日の日課にするなど、最新の気象情報に注意を払うことが大切です。台風が接近した場合などには、海や川など、危険な場所に近づかないことはもちろんのこと、可能な限り外出を避けることも必要です。天候が荒れていたたり、長時間雨が降り続けている場合などは、市が発表する避難情報に留意してください。市から避難に関する情報の発令があったときに、いつでも避難を開始できる

よう、準備をするなど、早め早めの行動をとるように心掛けましょう。また、避難するときに安全なルートを通って移動できるよう、日頃から、市が作成している『防災マップ』で浸水や土砂災害の危険性のある地区や避難場所などを確認しておくことも重要です。



▼問い合わせ
 総務グループ (☎01130)